

情報発信等の取組み例

資料7-2
参考3-1

資金管理業務諮問委員会委員の提案及び今般の情報発信の在り方等に関する検討会での議論を踏まえ、より安定的・かつ効率的な自動車リサイクル制度への発展に向けて、自動車ユーザー、自動車製造業者等、関連事業者、自治体、国に代表される関係主体と連携して情報発信等*に取組むこととし、その取組みの実施に要する費用（ユーザー理解活動の実施に要する費用を含む）の全てに特預金を充てることとする。

*情報収集、情報発信、情報共有

施策案	区分			対象	費用概算 (5年間) 単位：万円	特預金の活用範囲	
	情報 収集	情報 発信	情報 共有			委員案	JARC案
・自動車リサイクル制度施行後の環境負荷低減情報（フロン回収の温暖化への貢献、リサイクル費用の推移と技術の進歩）の情報提供	○			－	7,500	○	
・メーカー、車種ごとの再生資源の利活用の調査及び情報発信	○			－	7,500	○	
・自動車に係るリユース・リサイクルに係る詳細データの定期的、定点的な収集・取得・整理及び収集項目検討の実施 （例：リユース、リビルト部品フローの調査として、解体事業者におけるリユース/リビルト部品の流通状況について、各地方をカバーする形で、10社程度に対して3カ月間の実態調査を行う。）	○			－	7,500	○	○
・海外との自動車リサイクル制度比較：海外におけるリサイクル率等の算出方法等の調査も含め、同じ前提での比較検討、世界における日本の自動車リサイクルの現在地の定点観測	○			－	7,500	○	
・リサイクル料金負担後引取り価格の変化：ユーザーと事業者の情報との非対称性の解消	○			－	7,500	○	
・ユーザーの情報ニーズ調査費用。インターネットアンケート等を活用し、幅広くユーザーが欲している情報を収集する。	○			1-ザ等	1,000	○	
・ユーザーに対するアンケート調査等の実施（1回/年）	○			1-ザ等	1,000		○
・ニーズ把握に資するユーザー等を交えた意見交換会の実施（1回/年）	○			1-ザ等	500		○
・預託済み自動車の国内流通状況の定点観測（1回/年） （例：地域別預託台数、使用済台数、輸出台数等、他付加情報）	○			－	7,500		○
・使用済自動車から解体自動車の流通状況の定点観測（1回/年） （例：地域別ELV発生台数、破碎等、ガラク輸出、他付加情報）	○			－	7,500		○
・自動車ユーザー等への情報発信 （例：環境イベント、マス媒体広告、インターネット・街頭広告、チラシ/ポスター配布、他）		○		1-ザ等	66,500		○
・自動車ユーザー予備軍向けの情報発信 自動車教習所に通う方など、将来、自動車ユーザーになる可能性がある方に対して情報を発信する。 （例：運転免許学科教本への広告掲載、教習生への冊子配布、他）		○		1-ザ等	7,500		○
・Webページを用いた情報発信（複数言語対応） 自動車ユーザー等を始めとした一般消費者向けを意識したユーザービリティあるWebページの開設し、また、関係主体との連携を図るべく、自動車リサイクルの共通的な情報を掲示するWebページの開設・保守等を行う。 その他、国内在住の外国人ユーザー等に対して情報発信を行う。		○		1-ザ等 関係主体	2,500		○
・関係主体と情報共有 自動車リサイクル制度における役割を踏まえ、より安定的・かつ効率的な自動車リサイクル制度の発展に向けて、自動車ユーザー、自動車製造業者等、関連事業者、自治体、国に代表される関係主体と連携し、情報を共有する			○	関係主体	1,000		○

費用概算計(5年間)	委員案とJARC案の合計	132,500
費用概算計(5年間)	JARC案の合計のみ	101,500